

米、麦、大豆等を安定的に生産したい

収入減少影響緩和対策(ナラシ) (国費)

担当課

農業振興課水田営農係 TEL 72-8239

本事業の役割

米価等が下落した場合に収入を補てんする仕組みの制度です。

当年産の米、麦、大豆の収入額の合計が標準的収入額(※)を下回った場合に、減収額の9割が補てんされます。

※ 標準的収入とは、直近5年間のうち最高収入額と最低収入額を除いた3年分の収入を平均した金額で、毎年、都道府県ごとに標準収入額が告示されます。

どのような事業内容？

岩手県の標準的収入より当年産収入が少ないとき、補てん金が交付されます。

作物は、米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょが対象です。

標準収入金額は、毎年5月上旬に告示され、農林水産省HPで公開されます。

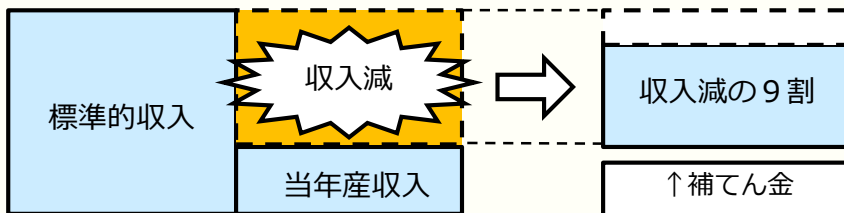
収穫後、当年産収入額が公開されれば、次の計算式で交付金額を計算できます。

平成29年産標準収入(10a当たり)

作物	標準収入金額
米 穀	113,378円
小麦(秋期播種)	8,312円
二条大麦	7,341円
六条大麦	10,723円
はだか麦	11,583円
大 豆	20,297円

$$\text{交付金額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

※平成30年産標準収入金額はH30/5/17時点で未発表



なお、米価変動補填交付金の支払いがある場合は次のとおり調整措置がとられます。

$$\text{交付金額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9 - \text{米価変動補填交付金}$$

対象者は？

認定農業者、集落営農組織、認定新規就農者が対象になります。

手続はどうするの？

花巻農協に対して交付申請書を提出してください。

【加入申請期限 平成30年4月2日～7月2日】

1 農地集積と保全対策

2 新規就農者の確保・育成

3 組織化による営農の効率化

4 農畜産物の高品質化・安定生産・収益向上

高品質な「銀河のしずく」を生産したい

米、麦、大豆等を安定的に生産したい

麦、大豆等を安定的に生産したい

アスパラガスを新規栽培、面積拡大したい

野菜、花卉を新規栽培、面積拡大したい

兼業農家の収益向上につながるアイデアを实践したい

有機栽培、特別栽培に取り組みたい

優良な素牛を購入、自家保留したい

きたかみ牛の出荷を拡大したい

養畜経営に対して備えておきたい(牛)

養畜経営に対して備えておきたい(豚)

農業用廃プラスチックに係る補助が欲しい

5 生産機械・施設の導入

6 6次産業化の取り組み

7 素材生産の拡大

8 鳥獣対策

麦、大豆等を安定的に生産したい

畑作物の直接支払交付金(ゲタ) (国費)

担当課

農業振興課園芸畜産係 TEL 72-8238

本事業の役割

国産農産物(麦、大豆、そば、なたね等)の生産及び販売を行う農業者に対し、「標準的な生産費」と「標準的な販売価格」の差額分に相当する交付金を直接交付する制度です。

どのような事業内容?

支払方法は(1)数量払いと(2)面積払いの2つがあり、面積払いは先払いとなります。

(1)生産量と品質に応じて交付する「数量払い」を基本として支払います。

(2)営農を継続するために必要な最低限の額を「面積払い(営農継続支払)」として支払います。面積払いは数量払いの交付金額から差し引かれて交付されます。

平成30年産数量払い交付単価(10a当たり)

面積払い交付単価

対象作物	平均交付単価
小麦	6,890円/60kg
二条小麦	5,460円/50kg
六条小麦	5,690円/50kg
はだか小麦	8,190円/60kg
大豆	9,040円/60kg
そば	16,840円/45kg
なたね	9,920円/60kg

20,000円/10a
(そば13,000円/10a)

※当年産の作付面積に応じて数量払いの先払いとして交付されます。

対象者は?

認定農業者、集落営農組織、認定新規就農者が対象になります。

手続はどうするの?

花巻農協に対して交付申請書を提出してください。

【加入申請期限 平成30年4月1日～6月30日】

1 農地集積と保全対策
2 新規就農者の確保・育成
3 組織化による営農の効率化
4 農畜産物の高品化・安定生産・収益向上
高品質な「銀河のしずく」を生産したい
米、麦、大豆等を安定的に生産したい
麦、大豆等を安定的に生産したい
アスパラガスを新規栽培、面積拡大したい
野菜、花卉を新規栽培、面積拡大したい
兼業農家の収益向上につながるアイデアを実践したい
有機栽培、特別栽培に取り組みたい
優良な素牛を購入、自家保留したい
きたかみ牛の出荷を拡大したい
養畜経営に対して備えておきたい(牛)
養畜経営に対して備えておきたい(豚)
農業用廃プラスチックに係る補助が欲しい
5 生産機械・施設の導入
6 6次産業化の取り組み
7 素材生産の拡大
8 鳥獣対策